

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	数値流体力学(CFD)と機械学習(AI)を利用したくも膜下出血予防システムの開発		
1. 研究の目的と方法	東京慈恵会医科大学、済生会熊本病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、米国 MGH (Massachusetts General Hospital)、オランダ Utrecht Universityにおいて診断治療した未破裂脳動脈瘤についてデータ収集を行う。これにより、未破裂脳動脈瘤患者データベース並びに数値流体力学(CFD: Computational Fluid Dynamics)等により得られるビッグデータを元に人工知能(AI: Artificial Intelligence)による解析を行い、患者個々のくも膜下出血発症予防を目的とした「くも膜下出血予防システム」の開発を目指します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年10月1日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2002年1月から2022年12月までの間に東京慈恵会医科大学附属病院の脳神経外科に来院し、脳動脈瘤と診断された18歳以上の方で、経過観察を行い破裂せず経過観察中の方、経過観察中に増大をきたした方、及び脳動脈瘤が破裂した方、外科的治療を行い合併症をきたした方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、生活習慣、合併疾患、検査結果（画像検査データ）など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座
		氏名	村山雄一
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 先端医療情報技術研究部 高尾洋之	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	東京理科大学 理工学部 教授 大和田勇人（機関の長：浜本隆之） 株式会社マックスネット 米山繁（機関の長：矢追龍之介） 済生会熊本病院 脳卒中センター 脳神経外科部長 山城重雄 （機関の長：中尾浩一）		

	<p>Massachusetts General Hospital Director of Cerebrovascular and Endovascular Neurosurgery Aman B. Patel (機関の長 : Marcela del Carmen)</p> <p>Utrecht University Professor Gaabriel Rinkel (機関の長 : C. G. J. M. Hilders)</p> <p>順天堂大学医学部附属順天堂医院 大学院医学研究科 教授 大石英則 (機関の長 : 代田 浩之)</p>
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、東京慈恵会医科大学 脳血管内治療センター内において東京理科大学の担当者に提供されますが、提供を受ける際は担当者が、東京慈恵会医科大学 脳血管内治療センターに直接出向き、その場で情報の閲覧等を行います。一切の情報は東京慈恵会医科大学の外部へと持ち出されることはありません。</p>
【問い合わせ先】	<p>機関名 : 東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座</p> <p>研究責任者 : 教授 村山 雄一 (むらやま ゆういち)</p> <p>電話番号 : 03-3433-1111 (内線 3461)</p> <p>対応時間 : 平日 9 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>葛飾医療センター担当者 : 青木 建 (あおき けん)</p> <p>電話番号 : 03-3603-2111 (内線 : 5963)</p> <p>柏病院担当者 : 府賀道康 (ふが みちやす)</p> <p>電話番号 : 04-7164-1111 (内線 : 3461)</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。